

デジタルものづくりを実現し

サステナブルな組織を目指す！

主な事業内容：製造業（金属・製網・鋳業・非鉄金属）

1946年に自動車修理工場を個人経営として創業。1954年にめっき工場を開業、1974年に延岡鉄工団地に移転、1975年に吉玉工業から分離独立して、吉玉精鍍株式会社を設立し現在に至る。

電気めっき、無電解めっき等の表面処理を通じて、地域産業を支える基盤技術を構築し幅広い分野において、事業を展開している。

従業員：80名 **HP：**<http://www.yoshitama.co.jp/>

📌 課題・背景

- ・ 本社が位置する延岡市の人口減少が進んでおり、**人材確保や人手不足解消が喫緊の課題**となっている。
- ・ デジタル技術を活用しつつ、工場内の生産ラインの省人化を図るのはもちろんのこと、誰もが働きやすい職場環境を整備するなど、**企業をあげて、サステナブルな組織に変革していかなければならない。**

⚙️ 改善に向けた取り組み

- ✓ 社長自らがDX推進の重要性を認識し、社を挙げて取組を進めることを決意。『スマート工場推進部』を設立し、**DX 実現に向けた社内の推進体制を構築。**
- ✓ デジタル化推進にあたっては、現場の声を聴きながらプロジェクトを組成。プロジェクトごとに現場スタッフを交えたチームを編成する等、**現場を巻き込みながら、また、必要に応じて外部機関の支援を活用する等**、効果的に業務改善を進めている。
- ✓ 企業文化の改革に向け、社内のDXの取組進捗を広く社員へ周知する機会を定期的に設けているほか、デジタルスキルを学ぶEラーニング等の研修環境を整え、**社員全員のデジタル化への意識を高める取組**を進めている。

◆ 現場からの提案でプロジェクトを組成

現場スタッフからの提案により、工程管理のシステム化やグループウェアを利用した情報共有とスケジュール管理の共有化などを実現。社内のシステム化においては、ローコード（MZPF）を利用し社内開発できる体制を構築！



◆ 社内のDXへの理解醸成に向けた研修を開催

スマート工場実現化プロジェクトの進捗状況を社員に周知するための研修を開催。



私達は、40年前から小集団活動や改善提案制度を導入し、「社員自ら考え改善を提案し変革していく」風土をもっています。DX化は改善の一つで、会社の変革に応じた改善をみんなで考え、現場力で改善を進めています。これからも改善意識を大事にし、前進していきます。

畝原部長
吉玉精鍍株式会社 スマート工場推進部